(19)日本国特許庁（ＪＰ）　(12) 公開特許公報（Ａ）　(11)特許出願公開番号

特開2003－77548
（P2003－77548A）

(43)公開日　平成15年３月14日(2003.3.14)

(51)Int.Cl.⁷	識別記号	ＦＩ	テーマコード*（参考）
Ｈ０１Ｍ　10/48		Ｈ０１Ｍ　10/48	Ｐ　２Ｇ０１６
Ｇ０１Ｒ　31/36		Ｇ０１Ｒ　31/36	Ａ　５Ｇ００３
Ｈ０１Ｍ　10/44		Ｈ０１Ｍ　10/44	Ａ　５Ｈ０３０
Ｈ０２Ｊ　7/00		Ｈ０２Ｊ　7/00	Ｘ

審査請求　未請求　請求項の数９　ＯＬ　（全 14 頁）

(21)出願番号　特願2002－162356(P2002－162356)

(22)出願日　平成14年６月４日(2002.6.4)

(31)優先権主張番号　特願2001－173443(P2001－173443)

(32)優先日　平成13年６月８日(2001.6.8)

(33)優先権主張国　日本（ＪＰ）

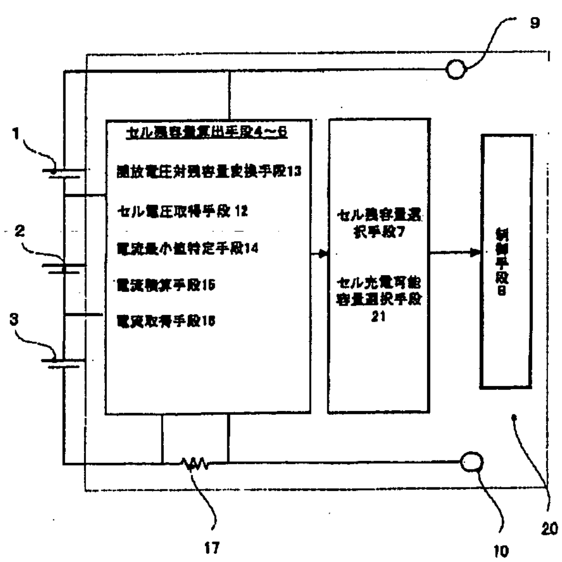
(71)出願人　592149521
文井　敏孝
神奈川県藤沢市本藤沢１丁目10番９号

(72)発明者　文井　敏孝
神奈川県藤沢市本藤沢１丁目10番９号

Ｆターム(参考)　2G016 CA03 CA04 CB11 CB12 CB21
CB22 CB31 CB32 CC01 CC03
CC06 CC07 CC12 CC23 CC27
CD02 CD14 CE03
5G003 BA03 CA05 CA16 EA05 GC05
5H030 AA03 AA04 AS06 BB01 FF41
FF42

(54)【発明の名称】　組電池の電池管理方法とシステム

(57)【要約】
【課題】複数の電池セルが直列接続された組電池のセルバランスが崩れた時、従来のように電池電圧だけで電池セルの残容量を調整しても、実際には組電池の残容量を算出できない。従って組電池の残容量データを基に行う組電池機器システムの電源管理は極めて困難である。そこで組電池の残容量を正確に求めて、残容量の表示や組電池の安全な充電や機器の消費電力をコントロールできるようにする事が課題である。
【解決手段】各電池セルの電圧ではなく、セル残容量を調整する事で組電池の残容量表示あるいは組電池機器システムのコントロールを行う。そのために組電池管理手段の中に、各セル独立した正確なセル残容量算出手段を所有する事で課題を解決する。



AL2

【特許請求の範囲】

【請求項１】直列接続した複数の電池セルからなる組電池と電池管理手段で構成する組電池機器システムに於いて、該電池管理手段が、セル残容量算出手段あるいはセル充電可能容量算出手段と、セル残容量選択手段あるいはセル充電可能容量選択手段と、該組電池機器システムのコントロールをする制御手段を有し、該セル残容量算出手段は複数の該電池セルの残容量を算出し、求めた該複数のセル残容量の内から該組電池の残容量に使用する該セル残容量を選択し、該充電可能容量選択手段は該セル充電可能容量算出手段を用いて算出したセル充電可能容量の内から該組電池の充電可能容量を選択し、該制御手段は選択した該セル残容量あるいは該セル充電可能容量を使用して該組電池機器システムのコントロールを行う組電池管理方法。

【請求項２】該セル残容量算出手段は、該電池セルに出入りする電流をカウントして電気量Ｑを求める電流積算手段と、電流最小値特定手段と、セル電圧を取得するセル電圧取得手段と、該電池セルの開放電圧を該電池セルの残容量に変換する開放電圧対残容量変換手段を有し、該電流最小値特定手段が、電流最小値以下に特定した時、該セル電圧取得手段で該電池セルの電圧を取得し、該電圧を該開放電圧対残容量変換手段で該電池セルの残容量に変換し、次に電流が該電流最小値を超えた時、該開放電圧対残容量変換手段によって得られた該残容量を初期値にすると共に、該電流積算手段を使用して積算した電気量Ｑを、該初期値に加算あるいは減算して該電池セルの該残容量を更新する請求項１の組電池管理方法。

【請求項３】該制御手段は、該組電池の残容量を表示する手段である請求項１の組電池管理方法。

【請求項４】該制御手段は、該組電池の充電をコントロールする手段である請求項１の組電池管理方法。

【請求項５】該制御手段は、該電池セルの残容量を独立して変化させる手段である請求項１の組電池管理方法。

【請求項６】該セル残容量算出手段あるいは該セル充電可能容量算出手段が、セルバランス調整用の閉回路に流れる電流を積算し、該組電池全体に流れる電流を積算して得られる電気量に加算あるいは減算して該セルに流れた電気量とする請求項１の組電池管理方法。

【請求項７】該制御手段は、該組電池機器システムの消費電力を変化させる手段である請求項１の組電池管理方法。

【請求項８】請求項１の組電池管理方法を使用する組電池管理システム。

【請求項９】請求項１の組電池管理方法をプログラムした記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【０００１】

【発明の属する技術分野】組電池で駆動する電池機器システムに於いて、残容量表示や充電や機器のパワーセーブや電池セルのバランス調整等を行う電池管理方法とシステム、およびその方法を保存した記録媒体に関する。

【０００２】

【従来の技術】組電池機器システムとは、組電池と電池管理手段をケースに収めた電池パックの形態が基本であるが、ノートパソコンやビデオカメラやハイブリッドカーのように組電池とセット本体が通信を行い電池の管理を行う形態も含まれる。従来電池で駆動する機器の中でも、携帯電話やデジタルスチルカメラ等は電池１個の単セル電圧で駆動できるが、ビデオカメラやノートパソコン等は、電池電圧の高いリチウムイオン電池を使用しても単セル電圧では不足である。そこで単セルを複数個直列に接続して組電池にして所望の電池電圧を得ている。また従来の電池管理手段では、電池残容量を算出して液晶等の表示装置に表示して、使用者が機器の電源を切ったり、充電したりする管理に使用されている。あるいは電池残容量が少なくなってくると、自動的に液晶の明るさを落として、パワーセーブする電池管理を行っている機器も存在する。いずれも電池残容量を求めて、その情報に基づいて電池管理を行う方法である。

【０００３】その電池残容量の算出は、従来から単セル電池の場合、電池セルの電圧から電池残容量に変換する電圧方法や電池に出入りする電流を積算する電流積算方法がある。あるいは電圧方法と電流方法を組み合わせた方法がある。組電池の場合は組電池全体を一つのセルと見なして、組電池全体の電圧や組電池全体に出入りする電流を検出して、単セル電池と同様な方法が実施されている。

【０００４】また、直列接続した組電池では各電池セルの電圧バランスが崩れる問題がある。電圧のバランスの崩れる原因としては、電池セルを組電池に組上げた時、最初から電池セルの電圧が異なっている場合や、各電池セルの電池容量が異なっている場合が上げられる。電池セルの電圧バランスが崩れると、充電時、電圧の高い電池セルが過充電になったり、他の電池セルが充電不足になる問題がある。また放電時は電池電圧の低い電池セルが過放電になったり、他の電池セルの電池容量が残ったまま組電池全体では放電終止電圧になる問題がある。いずれにしても、結果的に組電池の使用可能容量が低下する。そこで従来は各電池セルの電圧を独立して検出して、各電圧に所定電圧以上の差が生じた時、電圧の高い電池セルを放電して電圧の低い電池セルの電圧に合わせるコントロールを行っている。

【０００５】

【発明が解決しようとする課題】通常電池セルを直列接続して組電池にする場合、基本的にほぼ同じ容量の電池セルを使用すると共に、全ての電池セルの電圧がほぼ同じになるように、いわゆるセルバランスをとって組上げている。従って組電池の電池残容量を算出する上で、新品電池の間は、従来の電池残容量算出方法であっても問

題のない場合が多い。しかし何度も繰り返し充放電を繰り返していると、劣化等で各電池セルの容量が不均一になり、各電池セルの電圧も不均一になる。すると充電時、組電池全体では正常な充電電圧であっても、電池容量の大きな電池セルでは充電電圧が不足して満充電まで達しないで、組電池としては充電不足のまま満充電になってしまう問題がある。また放電時、組電池全体の放電終止電圧に到達した時、まだ電池容量が残っている電池セルが有り、組電池としては容量を使い切らない内に終止電圧になってしまう問題がある。従って当然組電池の実残容量は算出値より少なく、従来の算出方法を用いている組電池機器システムの残容量表示の精度は大幅に低下する。

【０００６】その上、充電時、電池容量の小さな電池セルは過充電になるので、安全性が低下したり、リチウムイオンセルを使った組電池では過電圧保護回路が作動し、組電池の電流を遮断して、機器が使用できなくなる大きな問題が発生する。そのために従来、各電池セルの電圧バランスが崩れてくると、スイッチと放電抵抗で構成する閉回路を各電池セルに設けて、高い電圧の電池セルを、低い電圧の電池セルの電圧になるまで放電する等のセルバランス調整をする管理方法が数種類ほど提案されている。例えば、実願平５－４７５３５、特願８－２００２６０、特願平９－３４６５５０、特願１０－３２８８７、特願平１１－６１３０７等が特許あるいは実用新案として出願されている。しかし、いずれの方法も、各電池セルの電圧を一致させる調整方法である。ところが、電池容量バランスの崩れた各電池セルの電圧を同一にしても、各電池セルの残容量や満充電するまでの充電可能容量は同一にならないので、組電池の残容量表示精度には大きな誤差が発生する。さらには組電池を充放電すると、直列接続した各電池セル電池に流れる電流は同じであるから、充電した時は過充電になる電池セルが発生し、放電した時は過放電になる電池セルが発生する大きな問題も解消できていない。

【０００７】従って本発明の目的とするところは、複数の電池セルが直列接続された組電池において、セルバランスが崩れた時も、組電池全体の正確な残容量を算出して残容量表示やコントロールを行い、機器使用者あるいは機器が自動的に組電池の制御を正確に行える管理方法、あるいはシステム、あるいは方法を記録した記録媒体を提供する事を目的としている。

【０００８】

【課題を解決するための手段】直列接続した複数の電池セルからなる組電池と組電池管理手段で構成する組電池機器システムにおいて、上記目的を達成するために、本発明は、組電池管理手段が次の技術的手段を有する。それは、複数の電池セルのセル残容量算出手段と、求めた複数のセル残容量の中から組電池の残容量として使用するセル残容量を選択するセル残容量選択手段、あるいは複数の電池セルのセル充電可能容量算出手段と、複数の充電可能容量の中から組電池の充電可能容量として使用するセル充電可能容量を選択するセル充電可能容量選択手段と、組電池機器システムの制御手段である。すなわち本発明は、従来のように組電池全体の電圧と、出入りする電流の管理、あるいは各電池セルの電圧だけを管理するのではなく、各電池セルの残容量を管理する事で、組電池の残容量表示あるいは組電池機器システムのコントロールを行う方法である。あるいはその方法を構成するシステム、あるいはその方法を記録した記録媒体である特徴がある。

【０００９】さらに本発明は、電池セルの残容量を算出する手段として、本発明者が、特願２００１－１７３４４３にて特許出願した電池の残容量変換方法を採用した。従来は、組電池におけるセルバランスの崩れた各電池セルの残容量算出が極めて困難であったが、特願２００１－１７３４４３による電池の残容量変換方法を使えば容易に電池セルの残容量を算出できる特徴がある。

【００１０】また本発明の制御手段は、セル残容量算出手段が算出したセル残容量の中からセル残残容量選択手段が選択したセル算容量を用いて、該組電池の残容量を表示する事で、機器の使用者が主導で機器のパワーセーブを行える特徴がある。

【００１１】また本発明の制御手段は、セル充電可能容量算出手段が算出したセル充電可能容量の中から、セル充電可能容量選択手段が選択したセル充電可能容量を用いて、組電池の充電をコントロールする特徴がある。

【００１２】また本発明は、制御手段が任意の電池セルの残容量を独立して変化させてセルバランスを整える事で、組電池の使用可能容量の低下を押さえると共に、安全性を高める特徴がある。

【００１３】また本発明は、各電池セルに独立して設けるセルバランス調整用の閉回路に流れた電気量を、組電池全体に流れた電気量に加算あるいは減算して各電池セルに流れた電気量にして、セル残容量算出手段あるいはセル充電可能容量算出手段の精度を高める特徴がある。

【００１４】また本発明の制御手段は、組電池機器システムを自動的にコントロールして機器のパワーセーブをする特徴がある。

【００１５】また本発明は、制御手段が自動的に機器のパワーセーブを行う特徴がある。

【００１６】

【発明の実施の形態】本発明の実施の形態１を、図１のブロック図を用いて詳細に説明する。先ずｎ個の電池セルを直列接続して組電池にする。図１では、ｎは３個として説明するが、ｎは２個以上であれば説明の趣旨は変わらない。各電池セル１～３にはそれぞれセル残容量算出手段４～６を並列に接続する。また各セル残容量算出手段４～６はそれぞれセル残容量選択手段７に入力する。さらにセル残容量選択手段は制御手段８に入力す

る。そして組電池への入出力は陽極９と陰極10を通して行う。セル残容量算出手段４～６とセル残容量選択手段７と制御手段８の動作プログラムはマイコン11に収める。

【００１７】セル残容量算出手段４～６は、本発明者が特願２００１－１７３４４３にて特許出願した、電池の残容量変換方法を用いて図２で説明する。セル残容量算出手段４～６は各電池セル１～３の残容量をそれぞれ独立して算出する手段であるが、その構成は同じで良く、また一つのセル残容量算出手段４をマルチプレクサ等で、電池セル１～３を切り替えて使用しても良い。すなわち残容量算出手段４～６をセル電圧取得手段12と開放電圧対残容量変換手段13と電流最小値特定手段14と電流積算手段15と電流取得手段16で構成する。電流取得手段16は電池セル１～３に直列に接続した電流検出抵抗17の両端に発生する電圧を検出する、電流検出の一つの方法を用いた。

【００１８】そしてその動作フローを図３に示す。先ずステップ１、以降（Ｓ１）と表示するが、電源オン（Ｓ１）するとマイコン11がオン（Ｓ２）する。次に電流取得手段16で流れる電流を検出する（Ｓ３）。次に電流最小値特定手段14を使って電流最小値を特定する（Ｓ４）。

【００１９】次に電池電圧取得手段12を使って電池セル１～３の開放電圧を取得する（Ｓ５）。一般に開放電圧とは、電池の陽極と負極を結ぶ電気回路をオープンにした時、すなわち電池に出入りする電流がゼロの場合の電圧である。但し電流が微小であればある程、電圧は開放電圧に近づくので、電流が最小値以下になった時の電圧を開放電圧と規定しても良い。例えば携帯電話であれば、待受け時の微小な電流のみが流れる状態、あるいはノートパソコンであれば、電源はオフしてもセル電圧を取得してメモリーするだけの微小な電流のみが流れる状態がある。その時のセル電圧を開放電圧と見なす事ができる。

【００２０】次に開放電圧対残容量変換手段13を使って、取得した電池セル１～３の開放電圧（Ｓ５）を残容量に変換する（Ｓ６）。開放電圧対残容量変換手段13は、あらかじめ電池セル１～３が劣化していない初期の時の電池特性を測定して、開放電圧対残容量のデータを取得し、変換テーブル18にして、ＲＯＭ等の不揮発性メモリーに保存する。

【００２１】次に電流が最小値を超えて流れ始めると（Ｓ７）、変換して得た電池セル１～３の残容量（Ｓ６）を初期値（Ｓ８）にし、電流積算手段５を使って、流れる電流を積算して、流れた電気量Ｑをカウントする（Ｓ９）。ところで本明細書の中では、放電電流をプラス、充電電流をマイナスで計算する。

【００２２】次に電池セル１～３の残容量の初期値（Ｓ８）からカウントした電気量Ｑ（Ｓ９）を減算あるいは加算する（Ｓ10）。こうして電池セル１～３の残容量は初期値（Ｓ８）を電気量Ｑ（Ｓ９）で減算あるいは加算しながら新しい残容量に更新する（Ｓ11）。

【００２３】ここまでの動作フロー（Ｓ１）～（Ｓ11）は各電池セル１～３について、それぞれ独立に実施する。従って３個の残容量が得られる。電池セル１～３の残容量をそれぞれＣｒ(1)～Ｃｒ(3)と表示する。

【００２４】次にセル残容量選択手段７で、Ｃｒ(1)～Ｃｒ(3)の中からもっとも残容量の少ない電池セル残容量を選んで（Ｓ12）、組電池の残容量を確定する（Ｓ13）。

【００２５】次に確定した組電池残容量（Ｓ13）を制御手段８に入力する。制御手段８は液晶ディスプレイ等に残容量表示を行う。機器使用者は組電池の残容量を確認して、機器の電源を切ったり、電池を交換する等の電池管理を行う事ができる。

【００２６】次に組電池の充電をコントロールする実施の形態２を説明する。電池セル１～３と組電池管理手段20の構成は実施の形態１で示した図２と同じである。また図３に示す動作フローのステップ（Ｓ１）～（Ｓ11）は同じなので、（Ｓ11）以降を図４に示す。さて各電池セル１～３の満充電における残容量すなわち容量は、組電池に組み上げた時から同じであるとは限らない。また劣化などの要因で各容量のバラツキは拡大する。そこで各電池セルの容量を区別してＣｆ(1)～Ｃｆ(3)と表示し、充電可能容量をＣｐ(1)～Ｃｐ(3)と表示すると（１）式の関係が成立する。

【００２７】

【数１】

$$Cp(m) = Cf(m) - Cr(m),\ m = 1 \sim 3 \quad \cdots \quad (1)$$

【００２８】そしてセル充電可能容量選択手段21は（１）式でＣｐ(m)を求めて、その中でもっとも少ないＣｐ(min)を選択する（Ｓ16）。次にそのＣｐ(min)を組電池の充電可能容量であると確定する（Ｓ17）。次に制御手段８を用いて、組電池をＣｐ(min)だけ充電する（18）。するといずれの電池セル１～３も過充電する事なく、組電池を最大容量まで充電する事ができる。

【００２９】前記したごとく、各電池セル１～３の各容量Ｃｆ(m)は同じだとは限らない。さらには劣化によって各電池セルの容量が変化すると、従来の電池残容量算出方法では、組電池に組まれた電池セル１～３の劣化度を算出する事ができないのでＣｆ(m)を求める事ができない。従来の電圧方法や電流積算方法はＣｆ(m)が基準値あるいは初期値になるので、Ｃｆ(m)が求まらない現状では、各電池セル１～３の実残容量や実充電可能容量を求めるのは不可能と言える。

【００３０】そこで。各電池セルのＣｆ(m)を求め、また補正する方法である実施の形態３を図５の動作フロー図を使って説明する。図５は特願２００１－１７３４４３に示した容量劣化度の算出方法である。先ず電流最小値以下を検出する（Ｓ13）と、電池セル１～３の各開放電

圧Vnを取得し（Ｓ５）、セル残容量Crn0に変換する（Ｓ６）。ここでVnのごとく下付きの符号ｎは電流最小値以下を検出した回数を示し、Crn0は劣化していない時の電池セルのｎ回目のセル残容量を示す。

【００３１】次にステップ13に戻るが、組電池に流れる電流が電流最小値を超える電流であると、Crn0を初期値にして（Ｓ８）、組電池に流れる電気量Qnをカウントする（Ｓ９）。再び電流最小値を検出する（Ｓ13）まで、電気量Qnはカウントアップされ続ける（Ｓ９）。再び電流最小値以下を検出する（Ｓ13）と、開放電圧V(n+1)を取得し（Ｓ５）、セル残容量Cr(n+1)0に変換する（Ｓ６）。ところで、セル残容量Crn0と残容量Cr(n+1)0は、開放電圧対残容量変換手段13、すなわち図３のテーブル18を参照して、開放電圧VnとV(n+1)から変換した残容量である（Ｓ６）。テーブル18から求めるセル残容量は、電池セルが劣化していない基準電池セルの残容量である。一方電気量Qnは、電圧Vnを取得して（Ｓ５）から、再び電圧V(n+1を取得する（Ｓ５）までの間に実際に使用した容量である。従って電池セルが劣化した比率を示すセル劣化度αcの基本式は（２）式で表される。

【００３２】

【数２】

$$\alpha c = (Crn0 - Cr(n+1)0) / Qn \quad \cdots \quad (2)$$

【００３３】式（１）の劣化度αcでは、劣化していないセルであればαcは１で、劣化する程大きくなる扱いにしている。また放電時の電気量Qnはプラスで充電時の電気量Qnはマイナスで扱っている。但しQnが非常に小さいと、VnとV(n+1)の差も小さくなって、セル電圧取得手段12で電圧差を判別できなくなる恐れがある。そこでQnは所定量以上の場合だけ採用する必要がある。電池セルの劣化は徐々に進む傾向があり、頻繁にセル劣化度αcを更新する必要がないので、Qnが十分に大きくてセル劣化度αcが正確に求まる時だけ、本実施例を実施すれば良い。

【００３４】図５のフローには示していないが、こうして求まったセル劣化度αcが1でない場合は、ステップ６のセル残容量Crn0をαcで割って補正して実残容量Crnを求める。またステップ８の初期値も、セル残容量Cn0をセル実残容量に更新する。補正は（３）式で表される。ｍはそれぞれの電池セル１～３について独立に算出する事を示す。

【００３５】

【数３】

$$Crn(m) = Crn0(m) / \alpha c(m), \quad m = 1 \sim 3 \quad \cdots \quad (3)$$

【００３６】また実容量Cfはセルの劣化を考慮した満充電時のセル実残容量とし、基準電池の満充電時のセル残容量を容量Cf0とすると、Cfは（４）式で表される。

【００３７】

【数４】

$$Cf(m) = Cf0(m) / \alpha c(m), \quad m = 1 \sim 3 \quad \cdots \quad (4)$$

【００３８】通常電池セル１～３を接続して組電池にする時、一つ々々の電池セル１～３の容量Cf0は実測していない。しかしできるだけ均一にするために同一生産ロットの中の電池セルを組み合わせる。従って放電カーブや充電カーブなどの電池特性はほぼ相似になっている。従ってその生産ロットの平均的な特性を実測して、あらかじめ標準容量Ｃf0(avr)を決定しておけば、Cf(m)は（４）式のCf0(m)をＣf0(avr)で置換えて式（２）と式（４）で補正して求める事ができる。

【００３９】このように各電池セル１～３の満充電時の実容量が、劣化等の要因で変化しても求まるので、セル残容量とセル充電可能容量が算出できる。従って制御手段８で、組電池の正確な残容量と充電可能容量が液晶ディスプレイ等に表示できる。また電池セル１～３の過充電を防いで安全性を高める事ができる。

【００４０】次に制御手段８が電池セル１～３のセルバランスを取る実施の形態４を図６のブロック図を用いて説明する。各電池セル１～３に並列にスイッチ19～21とバランス抵抗22～24を直列に接続して閉回路25～27を図２に追加した構成である。

【００４１】次に、制御回路８が電池セル１～３の実残容量を使ってバランスを取る場合の動作フローになるように、図３を変更した図７について説明する。図７は図３のステップ９から以降を示す。先ず電池セル１～３の残容量算出の結果（Ｓ11）からセル残容量が最少の残容量Ｃr(min)を選択した（Ｓ12）。例えばそれが電池セル１であるとすると、他の電池セル２、３の残容量Ｃr(2)、Ｃr(3)はＣr(1)よりも多い。そこで制御手段８を使ってスイッチ20、とスイッチ21をオンする。すると閉回路26ではバランス抵抗23を介して電池セル２に単独の電流が流れて、Ｃr(2)を消費する。電池セル３に於いても、閉回路27ではＣr(3)が消費されるのは同様である。Ｃr(2)とＣr(3)はそれぞれＣr(1)と等しくなるまで放電し、ほぼ等しくなったところで（Ｓ22）、スイッチ20とスイッチ21をオフして閉回路26、27での放電をストップする（Ｓ23）。

【００４２】ところでスイッチ20、21がオンしている間、ステップ20では閉回路26、27に流れる電流をカウントして電流積算も行い、その電気量をステップ11で更新したセル残容量から減算する（Ｓ21）。それをステップ11に戻して、閉回路に流れる電気量も含めたセル残容量に更新する。このようにセル残容量Ｃr(2)、Ｃr(3)、Ｃr(1)が等しくなるようにコントロールすると、組電池が放電終止電圧に達した時、電池セル１～３の残容量は等しくゼロになると共に、各電池セル１～３の電圧も等しく終止電圧になって正常なセルバランスが確保できる。

【００４３】次に、制御回路８が、電池セル１～３の実充電可能容量を使ってセルバランスを取る場合の動作フ

ローになるように図７を変更した図８について説明する。先ず電池セル１～３のセル充電可能容量算出の結果（Ｓ15）から最大のセル充電可能容量Ｃp(max)を選択した（Ｓ16）。例えばそれが電池セル１であるとすると、他の電池セル２、３の充電可能容量Ｃp(2)、Ｃp(3)はＣp(1)よりも少ない。そこで制御手段８を使ってスイッチ20、とスイッチ21をオンする（Ｓ19）。すると閉回路26ではバランス抵抗23を介して電池セル２に単独の電流が流れて、Ｃr(2)を消費する。電池セル３に於いても、閉回路27ではＣr(3)が消費されるのは同様である。Ｃr(2)とＣr(3)はＣp(2)とＣp(3)がＣp(1)と等しくなるまで放電し、ほぼ等しくなった（Ｓ22）ところでスイッチ20とスイッチ21をオフ（Ｓ23）して閉回路26、27での放電をストップする。

【００４４】またステップ20では電流をカウントして電流積算も行い、その電気量をステップ11で更新したセル残容量から減算する（Ｓ21）。それをステップ11に戻して、閉回路に流れた電気量も含めてセル残容量を更新するのは放電の場合と同様である。このようにセル充電可能容量Ｃp(2)、Ｃp(3)、Ｃp(1)が等しくなるようにコントロールすると、組電池が満充電に達した時、電池セル１～３も等しく満充電になるので、過充電になる電池セルは発生しない。従って充電における正常なセルバランスが確保できる。

【００４５】次に制御手段８が組電池機器システムの消費電力を自動的にコントロールする実施の形態５を説明する。例えばビデオカメラであれば、組電池の残容量が残り少なくなってくると、液晶のバックライトを消灯する等のパワーセーブを行う。また電池モーターとガソリンエンジンで駆動するハイブリッドカーであれば、組電池の残容量が少なくなってくると、電池モーター駆動からガソリンエンジン駆動に切り替えるコントロールを行う。これらの機器コントロールの自動化は周知の技術なので、図面を使った詳細な説明は省略する。

【００４６】

【発明の効果】請求項１においては、従来のように組電池全体の電圧と出入りする電流の管理、あるいは各電池セルの電圧だけを管理するのではなく、残容量算出手段を４～６を用いて求めた各電池セル１～３の残容量を管理する。従ってセルバランスの崩れた組電池であっても、正確な組電池の実残容量で組電池の残容量表示あるいは組電池機器システムのコントロールを行う。その結果セルバランスが崩れるにつれて、組電池全体の管理精度が低下して行く問題点を解決する効果がある。

【００４７】請求項２においては、本発明者が特願２００１－１７３４４３にて特許出願した電池の残容量変換方法を採用する事で、従来不可能とされていたセルバランスの崩れた組電池における電池セル１～３の残容量を正確に求める事が可能になり、電池機器システムの電源管理を正確にできるようになる効果は大きい。

【００４８】請求項３においては、制御手段８が請求項１に基づいたセル残容量を算出し、残容量表示を行う事で、機器使用者が電源管理を正確に実施できる効果がある。

【００４９】請求項４においては、制御手段８が請求項１に基づいて算出したセル残容量を使用してセル充電可能容量を算出し、その計算結果に基づいて制御手段８が充電をコントロールする。従って過充電になる電池セルが発生する事なく充電できるので安全性に対する効果が大きい。

【００５０】請求項５においては、請求項１に基づいてセル残容量算出手段が算出したセル残容量を使用し、正確なセルバランスの崩れの量を算出する。そして制御手段８が、その崩れ量分だけセルの残容量あるいは充電可能容量を調整するので、精度のよいセルバランスが確保できる効果は大きい。

【００５１】また請求項６においては、各電池セル１～３に独立して設けるセルバランス調整用の閉回路25～27に流れた電気量を、組電池全体に流れた電気量に加算あるいは減算して各電池セル１～３に流れた電気量にするので、セル残容量算出手段あるいはセル充電可能容量算出手段の精度を高める効果がある。

【００５２】また請求項７においては、制御手段８が、組電池機器システムの消費電力を自動的に変化させるので、機器の使用時間を延ばせる効果がある。

【００５３】また請求項８においては、請求項１に基づく正確な組電池管理方法を電池機器システムに構成するので、機器の電源管理の精度が格段に良くなる効果がある。

【００５４】また請求項９においては、請求項１に基づく正確な組電池管理方法のプログラムをマイコン内のROM等の記録媒体に保存する事で、量産してコストダウンでき、組電池機器システムを小型化できる効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】実施の形態１の組電池管理方法のブロック図である。

【図２】実施の形態１の組電池管理方法のブロック図である。

【図３】実施の形態１の組電池管理方法のフローチャートである。

【図４】実施の形態２の組電池管理方法のフローチャートである。

【図５】実施の形態３の組電池管理方法のフローチャートである。

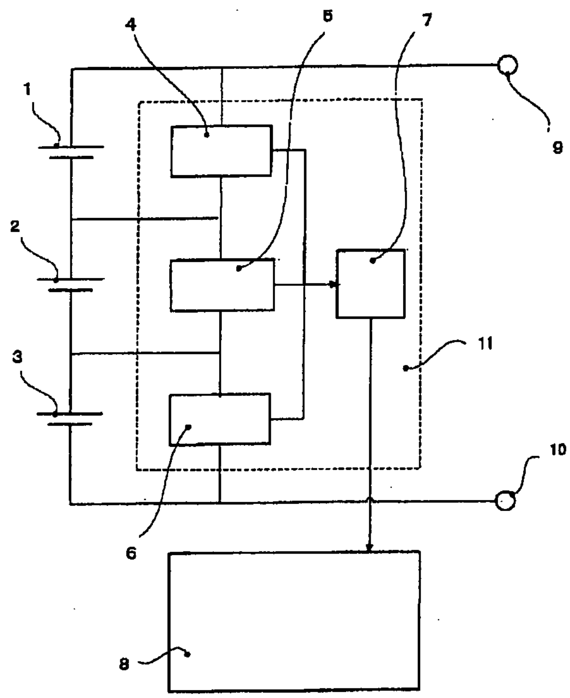
【図６】実施の形態４の組電池管理方法のブロック図である。

【図７】実施の形態４の組電池管理方法のフローチャートである。

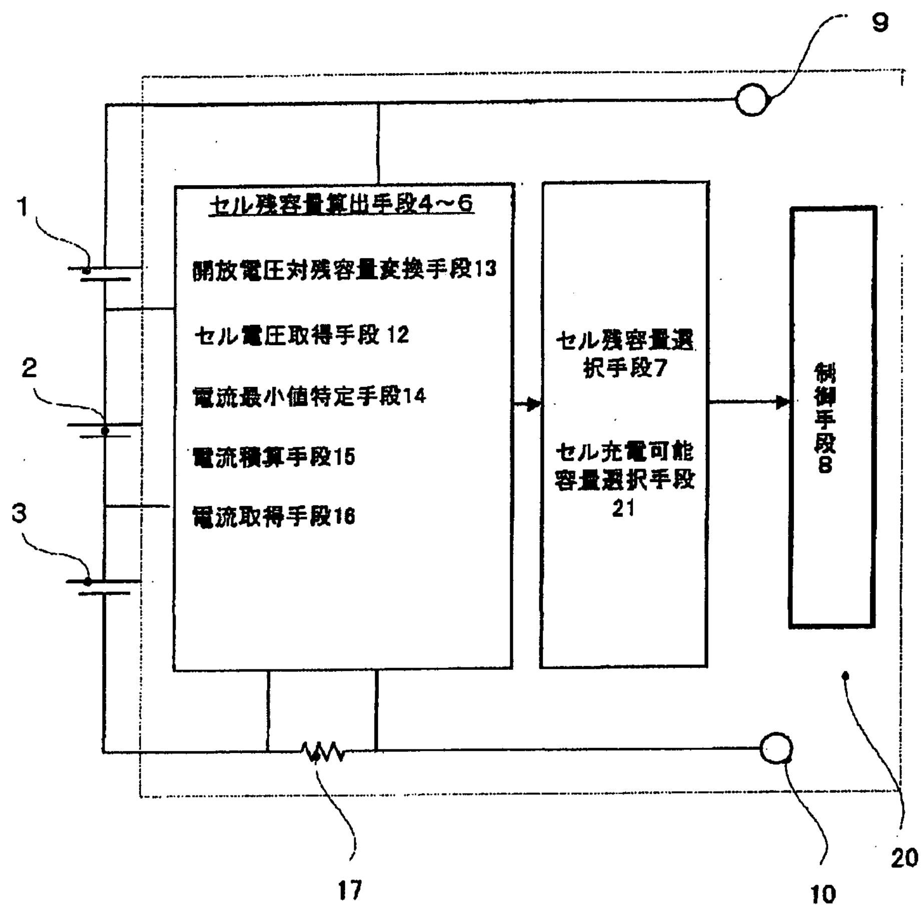
【図８】実施の形態４の組電池管理方法のフローチャートである。

【符号の説明】
１，２，３は電池セル
４，５，６はセル残容量算出手段
７はセル残容量選択手段
８は制御手段
９は陽極
10ははは陰極
11はマイコン
12はセル電圧取得手段
13は開放電圧対残容量変換手段
14は電流最小値取得手段
15は電流積算手段
16は電流取得手段
17は電流検出抵抗
18は変換テーブル
19，20，21はスイッチ
22，23，24はバランス抵抗
25，26，27は閉回路

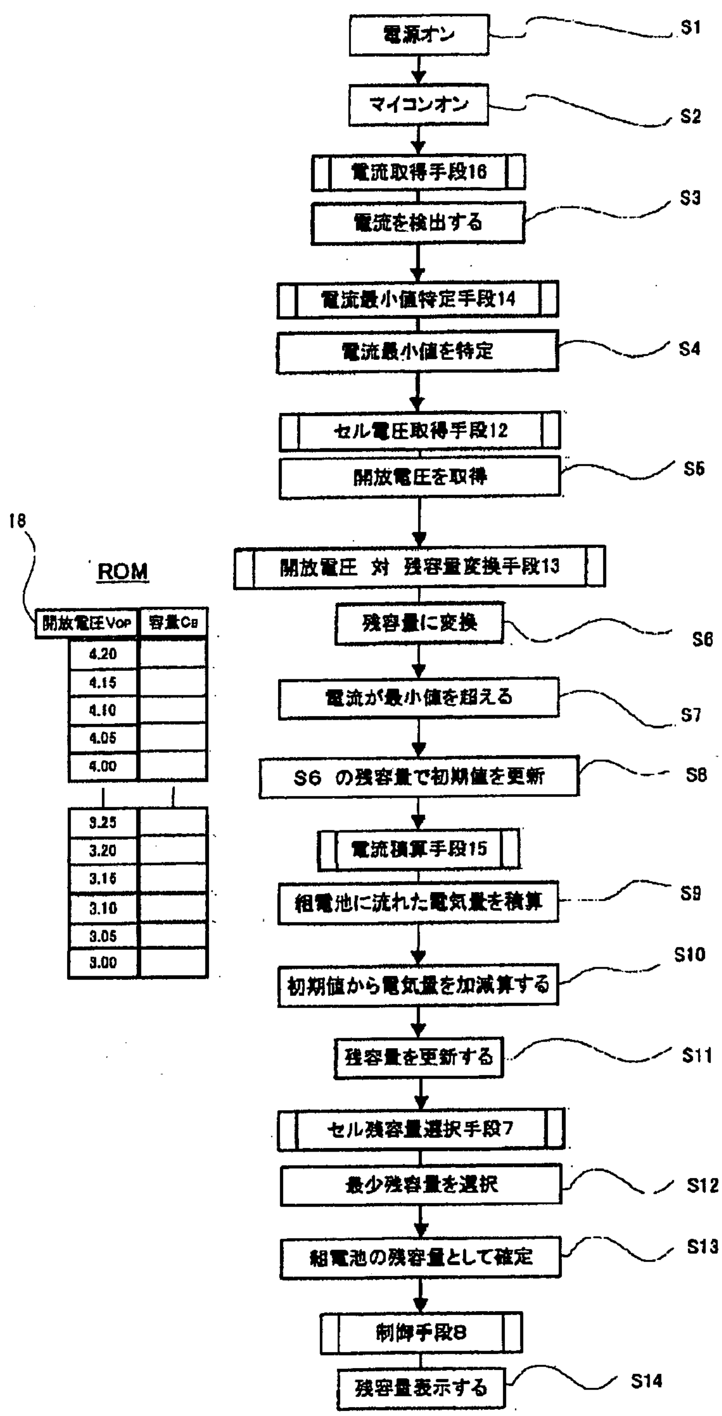
【図１】



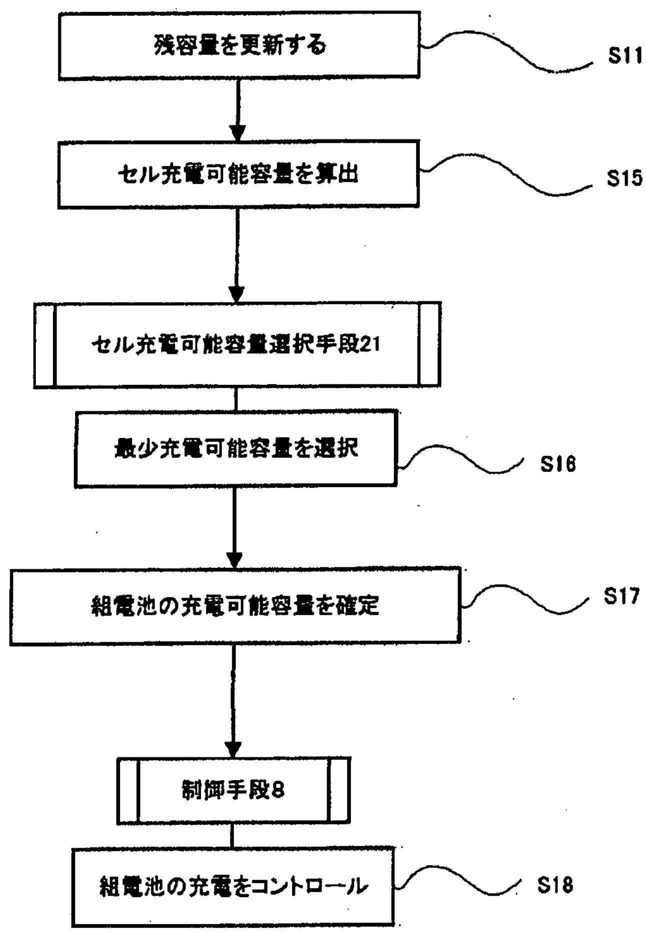
【図２】


9
1
2
3
セル残容量算出手段4～6
開放電圧対残容量変換手段13
セル電圧取得手段 12
電流最小値特定手段14
電流積算手段15
電流取得手段16
セル残容量選択手段7
セル充電可能容量選択手段21
制御手段8
17
10
20

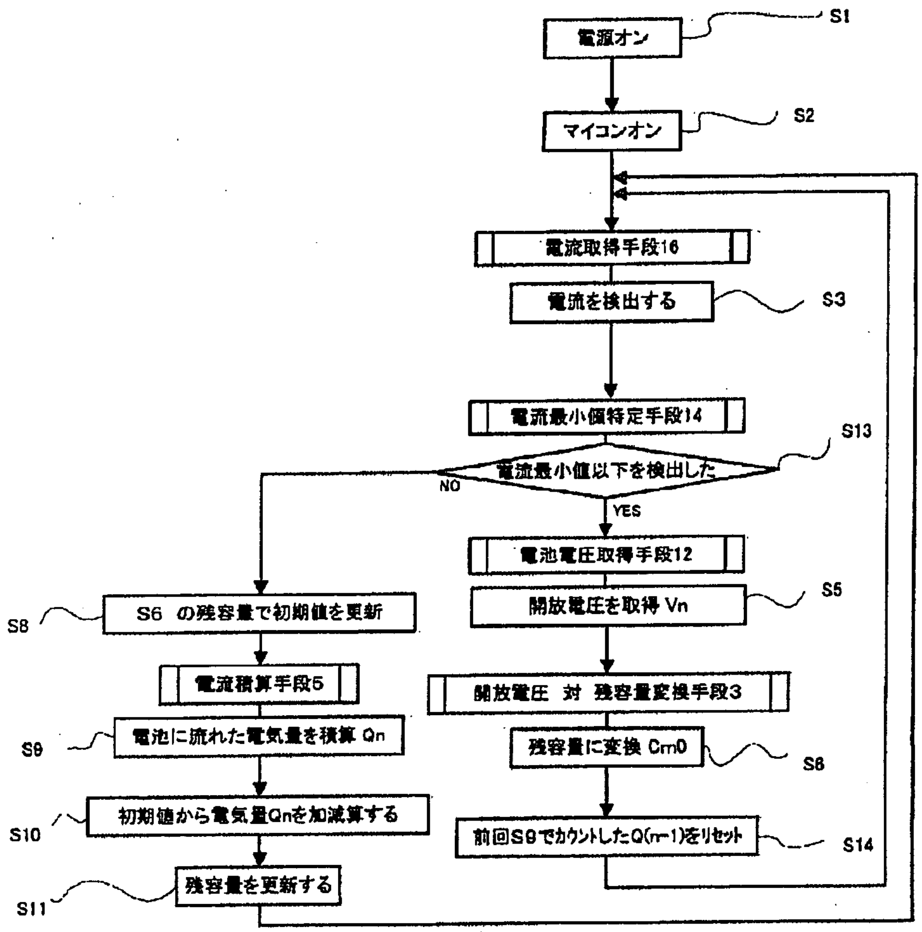
【図３】


電源オン
S1
マイコンオン
S2
電流取得手段16
電流を検出する
S3
電流最小値特定手段14
電流最小値を特定
S4
セル電圧取得手段12
開放電圧を取得
S5
18
ROM
開放電圧Vop
容量Cb
4.20
4.15
4.10
4.05
4.00
3.25
3.20
3.15
3.10
3.05
3.00
開放電圧 対 残容量変換手段13
残容量に変換
S6
電流が最小値を超える
S7
S6 の残容量で初期値を更新
S8
電流積算手段15
組電池に流れた電気量を積算
S9
初期値から電気量を加減算する
S10
残容量を更新する
S11
セル残容量選択手段7
最少残容量を選択
S12
組電池の残容量として確定
S13
制御手段8
残容量表示する
S14

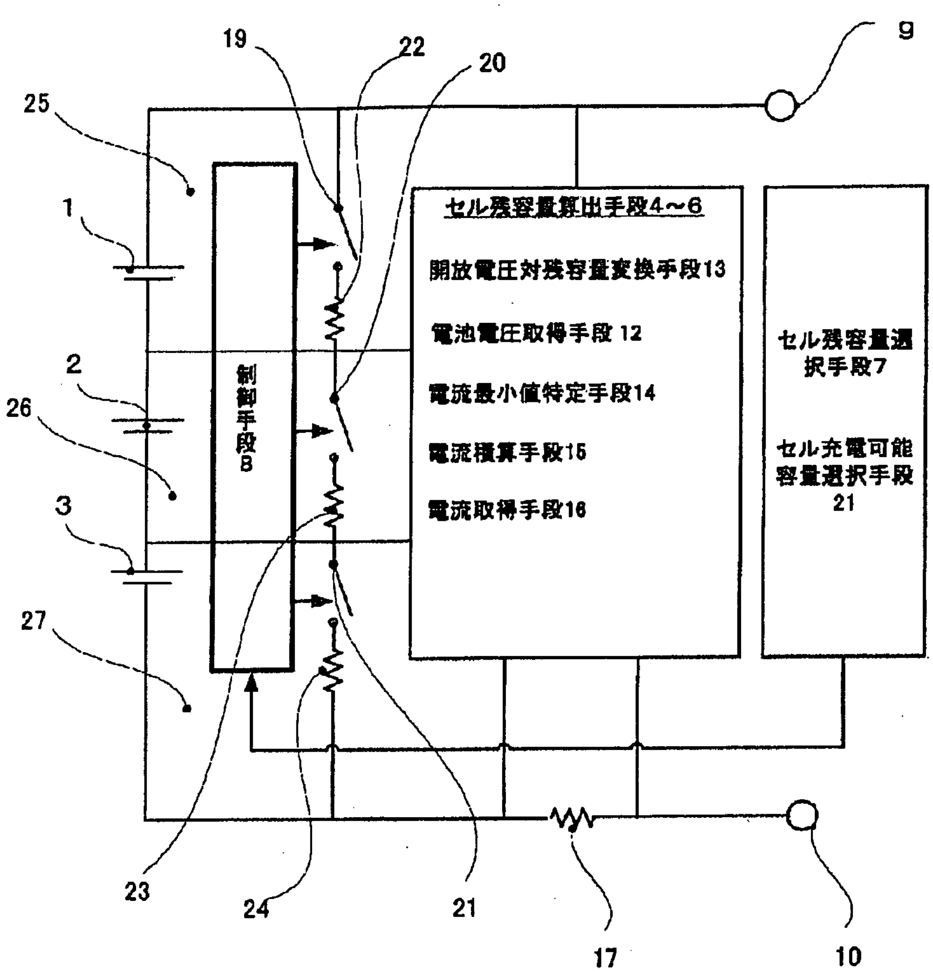
【図４】


残容量を更新する
S11
セル充電可能容量を算出
S15
セル充電可能容量選択手段21
最少充電可能容量を選択
S16
組電池の充電可能容量を確定
S17
制御手段8
組電池の充電をコントロール
S18

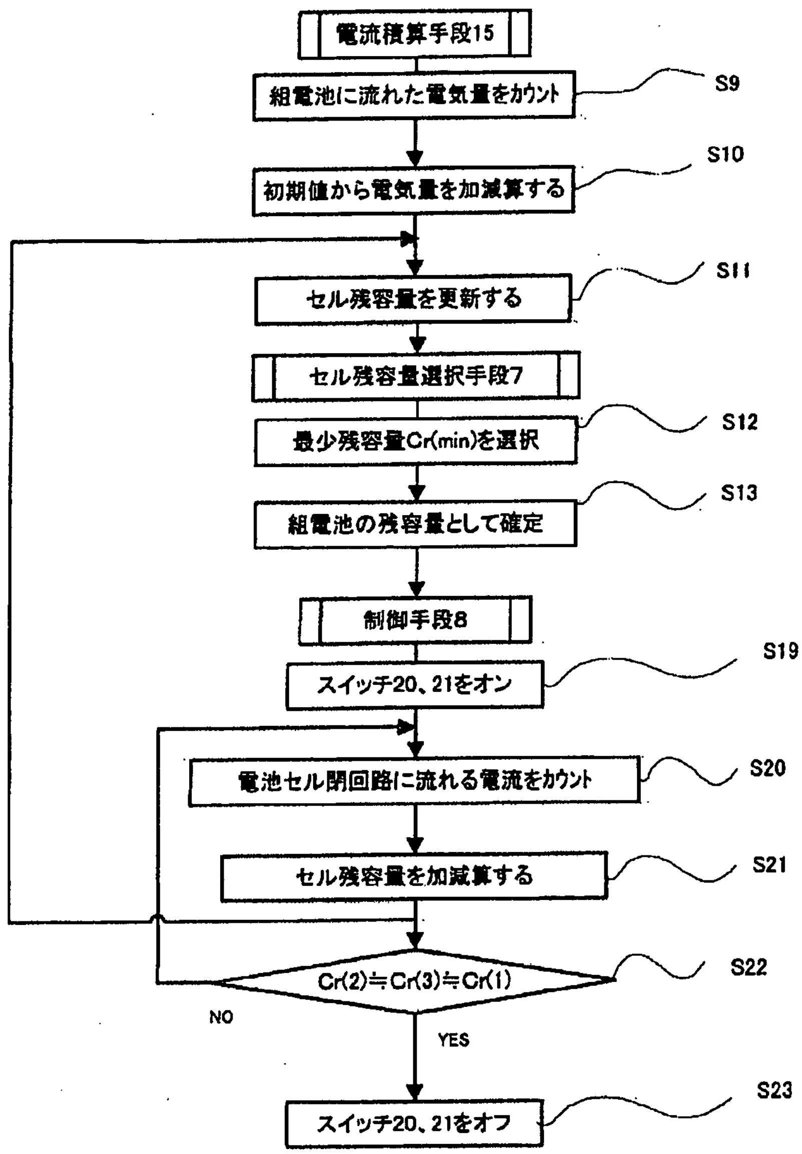
【図５】


電源オン
S1
マイコンオン
S2
電流取得手段16
電流を検出する
S3
電流最小値特定手段14
S13
電流最小値以下を検出した
NO
YES
電池電圧取得手段12
開放電圧を取得 Vn
S5
開放電圧 対 残容量変換手段3
残容量に変換 Cm0
S6
前回S9でカウントしたQ(n-1)をリセット
S14
S8
S6 の残容量で初期値を更新
電流積算手段5
S9
電池に流れた電気量を積算 Qn
S10
初期値から電気量Qnを加減算する
S11
残容量を更新する

【図６】

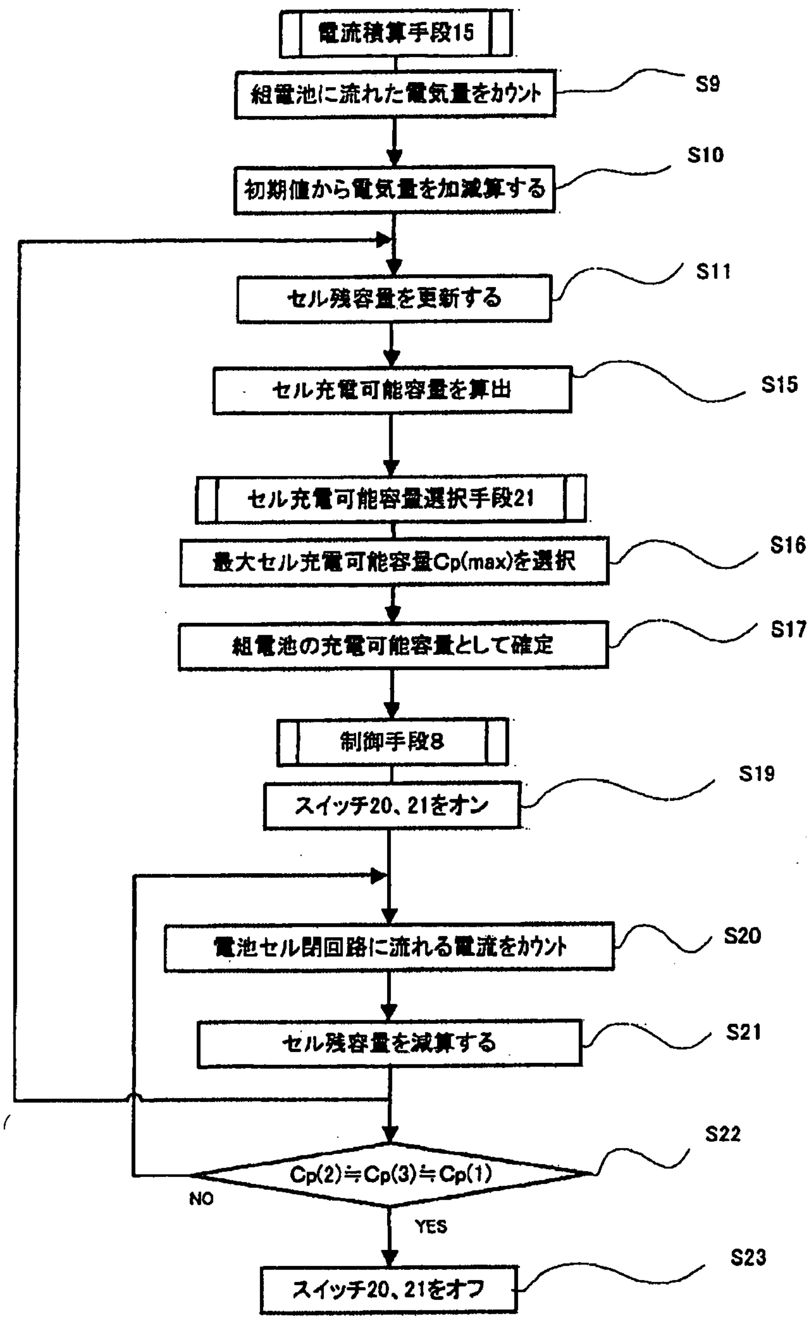

19
22
20
g
25
セル残容量算出手段4～6
開放電圧対残容量変換手段13
電池電圧取得手段 12
電流最小値特定手段14
電流積算手段15
電流取得手段16
セル残容量選択手段7
セル充電可能容量選択手段21
制御手段8
1
2
26
3
27
23
24
21
17
10

【図７】



電流積算手段15
組電池に流れた電気量をカウント
S9
初期値から電気量を加減算する
S10
セル残容量を更新する
S11
セル残容量選択手段7
最少残容量Cr(min)を選択
S12
組電池の残容量として確定
S13
制御手段8
スイッチ20、21をオン
S19
電池セル閉回路に流れる電流をカウント
S20
セル残容量を加減算する
S21
Cr(2)≒Cr(3)≒Cr(1)
S22
NO
YES
スイッチ20、21をオフ
S23

【図８】


電流積算手段15
組電池に流れた電気量をカウント
S9
初期値から電気量を加減算する
S10
セル残容量を更新する
S11
セル充電可能容量を算出
S15
セル充電可能容量選択手段21
最大セル充電可能容量Cp(max)を選択
S16
組電池の充電可能容量として確定
S17
制御手段8
スイッチ20、21をオン
S19
電池セル閉回路に流れる電流をカウント
S20
セル残容量を減算する
S21
Cp(2)≒Cp(3)≒Cp(1)
S22
NO
YES
スイッチ20、21をオフ
S23

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : **2003-077548**
(43)Date of publication of application : **14.03.2003**

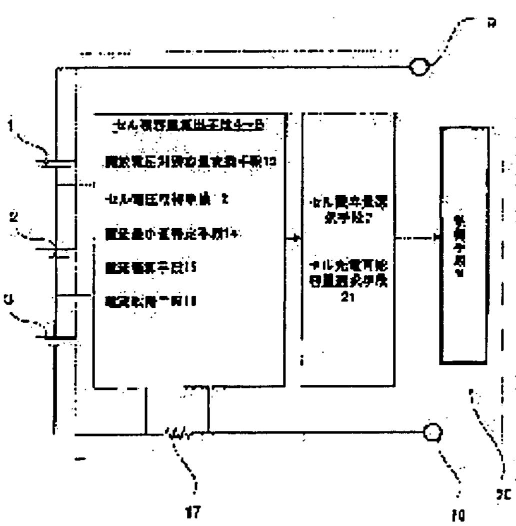
(51)Int.CI.
H01M 10/48
G01R 31/36
H01M 10/44
H02J 7/00

(21)Application number : **2002-162356**
(22)Date of filing : **04.06.2002**

(71)Applicant : **TAKEI TOSHITAKA**
(72)Inventor : **TAKEI TOSHITAKA**

(30)Priority
Priority number : **2001173443** Priority date : **08.06.2001** Priority country : **JP**

(54) BATTERY MANAGING METHOD AND SYSTEM FOR BATTERY SET



(57)Abstract:
PROBLEM TO BE SOLVED: To accurately find the remaining capacity of a battery set and control the display of the remaining capacity, the safe charge of the battery set and the consumption of power supplied to equipment for solving the problem on the battery set having a plurality of battery cells connected in series when out of cell balance that the remaining capacity of the battery set cannot be actually calculated in spite of the control of the remaining capacity of the battery cells using battery voltage only as usual, thus making it very difficult to manage power supplied to a battery set equipment system in accordance with remaining capacity data for the battery set.
SOLUTION: The display of the remaining capacity of the battery set or the control of the battery set equipment system is performed by controlling the remaining capacity of each battery cell instead of the voltage of each battery cell. For that purpose, independent and accurate cell remaining capacity calculating means for each cell is provided in battery set managing means.

* NOTICES *

JPO and NCIPI are not responsible for any damages caused by the use of this translation.

1.This document has been translated by computer. So the translation may not reflect the original precisely.

2.**** shows the word which can not be translated.

3.In the drawings, any words are not translated.

CLAIMS

[Claim(s)]

[Claim 1] In the group cell device system constituted from a group cell which consists of two or more cell cels which carried out series connection, and a cell management tool this cell management tool A cel remaining capacity calculation means or a cel charge possible-capacity calculation means, It has a cel remaining capacity selection means or a cel charge possible-capacity selection means, and the control means that carries out control of this group cell device system. This cel remaining capacity calculation means computes the remaining capacity of two or more of these cell cels, and chooses from from this cel remaining capacity used for the remaining capacity of this group cell among these two or more calculated cel remaining capacity. This charge possible-capacity selection means chooses the charge possible capacity of this group cell from from among the cel charge possible capacity computed using this cel charge possible-capacity calculation means. This control means is a group cell management method which controls this group cell device system using this selected cel remaining capacity or this cel charge possible capacity.

[Claim 2] A current addition means for this cel remaining capacity calculation means to count the current which frequents this cell cel, and to calculate quantity of electricity Q, It has a current minimum value specification means, a cel electrical-potential-difference acquisition means to acquire a cel electrical potential difference, and an open-circuit-voltage pair remaining capacity conversion means to change the open circuit voltage of this cell cel into the remaining capacity of this cell cel. When this current minimum value specification means specifies below as the current minimum value, the electrical potential difference of this cell cel is acquired with this cel electrical-potential-difference acquisition means. When this electrical potential difference is changed into the remaining capacity of this cell cel with this open-circuit-voltage pair remaining capacity conversion means and then a current exceeds this current minimum value, while making into initial value this remaining capacity obtained by this open-circuit-voltage pair remaining capacity conversion means The group cell management method of claim 1 which adds or subtracts quantity of electricity Q integrated using this current addition means to this initial value, and updates this remaining capacity of this cell cel.

[Claim 3] This control means is the group cell management method of claim 1 which is a means to display the remaining capacity of this group cell.

[Claim 4] This control means is the group cell management method of claim 1 which is a means to control charge of this group cell.

[Claim 5] This control means is the group cell management method of claim 1 which is a means to change independently the remaining capacity of this cell cel.

[Claim 6] The group cell management method of claim 1 made into quantity of electricity

to which this cel remaining capacity calculation means or this cel charge possible-capacity calculation means integrated the current which flows to the closed circuit for selva lance adjustment, added or subtracted the current which flows on this whole group cell to quantity of electricity integrated and obtained, and flowed in this cel.
[Claim 7] This control means is the group cell management method of claim 1 which is a means to change the power consumption of this group cell device system.
[Claim 8] The group cell managerial system which uses the group cell management method of claim 1.
[Claim 9] The record medium which programmed the group cell management method of claim 1.

DETAILED DESCRIPTION

[Detailed Description of the Invention]
[0001]
[Field of the Invention] In the cell device system driven by the group cell, it is related with the cell management method which performs remaining capacity display, charge, power save of a device, balance adjustment of a cell cel, etc., a system, and the record medium which saved the approach.
[0002]
[Description of the Prior Art] Although the gestalt of the cell pack with which the group cell device system stored the group cell and the cell management tool in the case is a base, the gestalt in which a group cell and the body of a set communicate and manage a cell is also included like a notebook computer, a video camera, or a hybrid car. Although a cellular phone, a digital still camera, etc. can be driven with the single cell voltage of one cell also in the device conventionally driven by the cell, even if a lithium ion battery with high cell voltage is used for a video camera, a notebook computer, etc., they are insufficient in single cell voltage. Then, two or more single cels were connected to the serial, it was made the group cell, and desired cell voltage has been obtained. Moreover, in the conventional cell management tool, cell remaining capacity is computed, and it displays on displays, such as liquid crystal, and is used for the management which a user turns off a device or charges. Or if cell remaining capacity decreases, the device which drops the brightness of liquid crystal automatically and is performing cell management which carries out power save also exists. It is the approach all calculate cell remaining capacity and perform cell management based on the information.
[0003] In the case of a single cel cell, calculation of the cell remaining capacity has from the former the current addition approach which integrates the current which frequents the electrical-potential-difference approach changed into cell remaining capacity from the electrical potential difference of a cell cel, and a cell. Or there is an approach which combined the electrical-potential-difference approach and the current approach. In the case of the group cell, it considers that the whole group cell is one cel, the current which frequents the electrical potential difference of the whole group cell and the whole group cell is detected, and the same approach as a single cel cell is enforced.
[0004] Moreover, by the group cell which carried out the series connection, there is a problem on which the electrical-potential-difference balance of each cell cel collapses. As a cause by which the balance of an electrical potential difference collapses, when it

finishes setting up a cell cel on a group cell, the case where the electrical potential differences of a cell cel differ, and the case where the cell capacity of each cell cel differs are raised from the beginning. When the electrical-potential-difference balance of a cell cel collapses, at the time of charge, a cell cel with a high electrical potential difference is overcharged, or there is a problem from which other cell cels become the lack of charge. Moreover, at the time of discharge, while the cell cel with low cell voltage became overdischarge or the cell capacity of other cell cels had remained, there is a problem which becomes discharge final voltage by the whole group cell. Anyway, the usable capacity of a group cell falls as a result. Then, when the electrical potential difference of each cell cel is conventionally detected independently and the difference more than a predetermined electrical potential difference arises on each electrical potential difference, control which discharges and doubles a cell cel with a high electrical potential difference with the electrical potential difference of a cell cel with a low electrical potential difference is performed.

[0005]

[Problem(s) to be Solved by the Invention] Usually, when carrying out series connection of the cell cel and making it a group cell, while using the cell cel of the fundamental almost same capacity, it is taking and finishing setting up the so-called selva lance so that the electrical potential difference of all cell cels may become almost the same. Therefore, when computing the cell remaining capacity of a group cell, even if it is the conventional cell remaining capacity calculation approach between new article cells, it is satisfactory in many cases. However, if charge and discharge are repeated repeatedly, the capacity of each cell cel will become an ununiformity by degradation etc., and the electrical potential difference of each cell cel will also become an ununiformity. Then, in a cell cel with a big cell capacity, even if it is a normal charge electrical potential difference by the whole group cell at the time of charge, there is a problem which becomes a full charge while charge has been insufficient as a group cell without a charge electrical potential difference is insufficient and reaching to a full charge. Moreover, when the discharge final voltage of the whole group cell is reached at the time of discharge, there is a cell cel in which cell capacity still remains, and before using up capacity as a group cell, the problem which becomes a termination electrical potential difference is. Therefore, naturally, there is less real remaining capacity of a group cell than a calculation value, and the precision of a remaining capacity display of the group cell device system which uses the conventional calculation approach falls sharply.

[0006] Since the cell cel with a small cell capacity is moreover overcharged at the time of charge, safety falls, or an overvoltage protection circuit operates by the group cell using a lithium ion cel, the current of a group cell is intercepted, and the big problem it becomes impossible to use a device occurs. Therefore, if the electrical-potential-difference balance of each cell cel collapses conventionally, the closed circuit constituted from a switch and discharge resistance is established in each cell cel, and the management method which carries out selva lance adjustment of discharging until it becomes the electrical potential difference of the cell cel of a low electrical potential difference about the high cell cel of an electrical potential difference is proposed for some kinds. For example, it applies for application-for-utility-model-registration Taira 5-47535, an application for patent 8-200260, Japanese Patent Application No. 9-346550, the application for patent 10-32887, and the Japanese-Patent-Application-No. 11-61307 grade as a patent or a utility model.

However, it is the adjustment approach that any approach makes in agreement the electrical potential difference of each cell cel. however -- even if the same in the electrical potential difference of each cell cel in which cell capacity balance collapsed -- the remaining capacity of each cell cel -- since charge possible capacity until it carries out a full charge does not become the same, gross errors occur for the remaining capacity display precision of a group cell. Since the current which will flow on each cell cel cell which carried out series connection if the charge and discharge of the group cell are furthermore carried out is the same, when the cell cel which is overcharged when it charges occurred and discharges, it has not solved the big problem which the cell cel which becomes overdischarge generates, either.

[0007] Therefore, in the group cell by which the series connection of two or more cell cels was carried out, also when a selva lance collapses, the place made into the purpose of this invention computes the exact remaining capacity of the whole group cell, performs remaining capacity display and control, and aims at offering the management method by which a device user or a device can control a group cell correctly automatically, a system, or the record medium which recorded the approach.

[0008]

[Means for Solving the Problem] In the group cell device system constituted from a group cell which consists of two or more cell cels which carried out series connection, and a group cell management tool, in order to attain the above-mentioned purpose, as for this invention, a group cell management tool has the following technical means. They are a cel remaining-capacity selection means choose the cel remaining-capacity calculation means of two or more cell cels, and the cel remaining capacity used as remaining capacity of a group cell out of two or more calculated cel remaining capacity or the cel charge possible-capacity calculation means of two or more cell cels, a cel charge possible-capacity selection means choose the cel charge possible capacity used as charge possible capacity of a group cell from two or more charge possible capacity, and the control means of a group cell device system. That is, this invention is managing the remaining capacity of each cell cel rather than managing like before only the electrical potential difference of the whole group cell, and management of the current which goes in and out or the electrical potential difference of each cell cel, and is the approach of performing remaining capacity display of a group cell, or control of a group cell device system. Or there is the description which is the system which constitutes the approach, or the record medium which recorded the approach.

[0009] Furthermore, the remaining capacity conversion approach of the cell in which this invention person did patent application by the application for patent 2001-173443 was used for this invention as a means to compute the remaining capacity of a cell cel. Although remaining capacity calculation of each cell cel in which the selva lance in a group cell collapsed was very difficult conventionally, if the remaining capacity conversion approach of the cell by the application for patent 2001-173443 is used, there is the description which can compute the remaining capacity of a cell cel easily.

[0010] Moreover, using cel ****** which the cel ******** selection means chose from the cel remaining capacity which the cel remaining capacity calculation means computed, the control means of this invention is displaying the remaining capacity of this group cell, and has the description to which the user of a device can carry out power save of a device by initiative.

[0011] Moreover, the control means of this invention has the description which controls charge of a group cell using the cel charge possible capacity which the cel charge possible-capacity selection means chose out of the cel charge possible capacity which the cel charge possible-capacity calculation means computed.
[0012] Moreover, a control means is changing independently the remaining capacity of the cell cel of arbitration, and preparing a selva lance, and this invention has the description which raises safety while pressing down the fall of the usable capacity of a group cell.
[0013] Moreover, this invention is made into quantity of electricity which added or subtracted quantity of electricity which flowed to the closed circuit for selva lance adjustment established independently in each cell cel to quantity of electricity which flowed on the whole group cell, and flowed in each cell cel, and has the description which raises the precision of a cel remaining capacity calculation means or a cel charge possible-capacity calculation means.
[0014] Moreover, the control means of this invention has the description which controls a group cell device system automatically and carries out power save of a device.
[0015] Moreover, this invention has the description to which a control means carries out power save of a device automatically.
[0016]
[Embodiment of the Invention] The gestalt 1 of operation of this invention is explained to a detail using the block diagram of drawing 1 . Series connection of the n cell cel is carried out first, and it is made a group cell. In drawing 1, although n is explained as three pieces, if n is two or more pieces, the meaning of explanation will not change. The cel remaining capacity calculation means 4-6 are connected to juxtaposition at each cell cels 1-3, respectively. Moreover, each cel remaining capacity calculation means 4-6 are inputted into the cel remaining capacity selection means 7, respectively. Furthermore, a cel remaining capacity selection means is inputted into a control means 8. And the I/O to a group cell is performed through an anode plate 9 and cathode 10. The program of the cel remaining capacity calculation means 4-6, the cel remaining capacity selection means 7, and a control means 8 of operation is stored in a microcomputer 11.
[0017] this invention person explains the cel remaining capacity calculation means 4-6 by drawing 2 using the remaining capacity conversion approach of a cell which carried out patent application by the application for patent 2001-173443. Although it is a means to compute independently the remaining capacity of each cell cels 1-3, respectively, the configuration is the same, and good, and is a multiplexer etc. about one cel remaining capacity calculation means 4, and, as for the cel remaining capacity calculation means 4-6, may change and use the cell cels 1-3. That is, the remaining capacity calculation means 4-6 consist of the cel electrical-potential-difference acquisition means 12, the open-circuit-voltage pair remaining capacity conversion means 13, a current minimum value specification means 14, a current addition means 15, and a current acquisition means 16. The current acquisition means 16 used the one approach of current detection of detecting the electrical potential difference generated to the both ends of the current detection resistance 17 connected to the cell cels 1-3 at the serial.
[0018] And the flow of operation is shown in drawing 3. Although it is first displayed as step 1 and henceforth (S1), when power-source ON (S1) is carried out, a microcomputer 11 turns on (S2). Next, the current which flows with the current acquisition means 16 is

detected (S3). Next, the current minimum value is specified using the current minimum value specification means 14 (S4).
[0019] Next, the open circuit voltage of the cell cels 1-3 is acquired using the cell voltage acquisition means 12 (S5). Generally, open circuit voltage is an electrical potential difference in case the current which frequents a cell is zero, when the electrical circuit to which the anode plate and negative electrode of a cell are connected is made open. However, since an electrical potential difference will approach open circuit voltage a certain degree if the current is minute, an electrical potential difference when a current becomes below the minimum value may be specified as open circuit voltage. For example, if it is the condition that will await and only the minute current at the time will flow if it is a cellular phone, or a notebook computer, even if it turns off a power source, it has the condition that only the minute current which acquires and carries out memory of the cel electrical potential difference flows. It can be considered that the cel electrical potential difference at that time is open circuit voltage.
[0020] Next, the open circuit voltage (S5) of the acquired cell cels 1-3 is changed into remaining capacity using the open-circuit-voltage pair remaining capacity conversion means 13 (S6). The open-circuit-voltage pair remaining capacity conversion means 13 measures the cell property at the time of being the first stage when the cell cels 1-3 have not deteriorated beforehand, acquires the data of open-circuit-voltage pair remaining capacity, uses them as a translation table 18, and is saved at nonvolatile memories, such as ROM.
[0021] Next, if a current begins to flow exceeding the minimum value (S7), remaining capacity (S6) of the cell cels 1-3 changed and obtained is made into initial value (S8), using the current addition means 5, the flowing current will be integrated and quantity of electricity Q which flowed will be counted (S9). By the way, in this specification, the discharge current is added and the charging current is calculated by minus.
[0022] Next, quantity of electricity Q (S9) counted from the initial value (S8) of the remaining capacity of the cell cels 1-3 is subtracted or added (S10). In this way, the remaining capacity of the cell cels 1-3 is updated to new remaining capacity, subtracting or adding initial value (S8) by quantity of electricity Q (S9) (S11).
[0023] About the flow [so far] (S1) of operation and each cell cels 1-3, - (S11) carries out independently, respectively. Therefore, three remaining capacity is obtained. The remaining capacity of the cell cels 1-3 is displayed as Cr(1) -Cr(3), respectively.
[0024] Next, with the cel remaining capacity selection means 7, cell cel remaining capacity with least remaining capacity is chosen from Cr(1) -Cr(3) (S12), and the remaining capacity of a group cell is decided (S13).
[0025] Next, the settled group cell remaining capacity (S13) is inputted into a control means 8. A control means 8 performs a remaining capacity display to a liquid crystal display etc. A device user checks the remaining capacity of a group cell, and the power source of a device can be cut or he can perform cell management of exchanging cells.
[0026] Next, the gestalt 2 of the operation which controls charge of a group cell is explained. The configuration of the cell cels 1-3 and the group cell management tool 20 is the same as drawing 2 shown with the gestalt 1 of operation. Moreover, since step (S1) - (S11) of the flow of operation shown in drawing 3 is the same, henceforth (S11) is shown in drawing 4. Now, when it finishes setting up on a group cell, it is not necessarily the same from from, the remaining capacity, i.e., the capacity, in a full charge of each cell

cels 1-3. Moreover, the variation in each capacity is expanded by factors, such as degradation. Then, if the capacity of each cell cel is distinguished, it is displayed as Cf(1) -Cf(3) and charge possible capacity is displayed as Cp(1) -Cp(3), the relation of (1) type will be materialized.

[0027]

[Equation 1]

[0028] And the cel charge possible-capacity selection means 21 calculates Cp (m) by (1) formula, and chooses fewest Cp (min) in it (S16). Next, the Cp (min) is decided as it is the charge possible capacity of a group cell (S17). Next, only Cp (min) charges a group cell using a control means 8 (18). Then, a group cell can be charged to maximum capacity, without overcharging any cell cels 1-3.

[0029] As described above, each capacity Cf of each cell cels 1-3 (m) is not necessarily the same. If the capacity of each cell cel furthermore changes with degradation, since whenever [cell cels' 1-3 constructed by group cell's degradation] is uncomputable, Cf (m) cannot be calculated by the conventional cell remaining capacity calculation approach. It can be said that neither the conventional electrical-potential-difference approach nor the current addition approach can calculate the real remaining capacity and real charge possible capacity of each cell cels 1-3 in the present condition that Cf (m) cannot be found since Cf (m) becomes a reference value or initial value.

[0030] It is there. The gestalt 3 of the operation which is the approach of calculating and amending Cf (m) of each cell cel is explained using the flow Fig. of drawing 5 of operation. Drawing 5 is the calculation approach of whenever [capacity degradation / which was shown in the application for patent 2001-173443]. first -- below the current minimum value -- detecting (S13) -- each open circuit voltage Vn of the cell cels 1-3 is acquired (S5), and it changes into the cel remaining capacity Crn0 (S6). Like Vn, the sign n with the bottom shows the count which detected below the current minimum value, and Crn0 shows the n-th cel remaining capacity of the cell cel when having not deteriorated here.

[0031] Next, although it returns to step 13, Crn0 is carried out to it being the current on which the current which flows on a group cell exceeds the current minimum value at initial value (S8), and quantity of electricity Qn which flows on a group cell is counted (S9). Counting up quantity of electricity Qn is continued until it detects the current minimum value again (S13) (S9). again -- below the current minimum value -- detecting (S13) -- open circuit voltage V (n+1) is acquired (S5), and it changes into the cel remaining capacity Cr(n+1) 0 (S6). By the way, the cel remaining capacity Crn0 and remaining capacity Cr(n+1) 0 are the remaining capacity changed from open circuit voltage Vn and V (n+1) with reference to the open-circuit-voltage pair remaining capacity conversion means 13 18, i.e., the table of drawing 3 , (S6). The cel remaining capacity calculated from a table 18 is the remaining capacity of the criteria cell cel in which the cell cel has not deteriorated. It is an electrical potential difference V (it is the capacity actually used in between [until it acquires n+1 (S5)].) again from on the other hand quantity of electricity Qn acquiring an electrical potential difference Vn (S5). Therefore, the basic type of alphac is expressed with (2) types whenever [cel degradation / which shows the ratio into which the cell cel deteriorated].

[0032]
[Equation 2]

[0033] In degradation [of a formula (1)] whenever alphac, if it is the cel which has not deteriorated, alphac is 1 and is made the treatment which becomes so large that it deteriorates. Moreover, quantity of electricity Qn at the time of discharge is treated by plus, and quantity of electricity Qn at the time of charge is treated by minus. However, when Qn is very small, the difference of Vn and V (n+1) also becomes small, and there is a possibility that it may become impossible to distinguish an electrical-potential-difference difference with the cel electrical-potential-difference acquisition means 12. Then, only in more than the specified quantity, Qn needs to adopt. What is necessary is to carry out this example, only when Qn is fully large and alphac can be found correctly whenever [cel degradation], since degradation of a cell cel tends to progress gradually and does not need to update alphac whenever [cel degradation] frequently.
[0034] Although not shown in the flow of <u>drawing 5</u>, when alphac is not 1 whenever [cel degradation / which was able to be found in this way], the cel remaining capacity Crn0 of step 6 is broken by alphac, is amended, and the real remaining capacity Crn is calculated. Moreover, the initial value of step 8 also updates the cel remaining capacity Cn0 to cel real remaining capacity. Amendment is expressed with (3) types. It is shown that m computes independently about each cell cel 1-3.
[0035]
[Equation 3]

[0036] Moreover, Cf is expressed with (4) types, when net volume Cf is made into the cel real remaining capacity at the time of the full charge in consideration of degradation of a cel and cel remaining capacity at the time of the full charge of a criteria cell is made into capacity Cf0.
[0037]
[Equation 4]

[0038] Usually, when connecting the cell cels 1-3 and making it a group cell, capacity Cf0 of the cell cels 1-3 of one **** is not surveyed. However, in order to make it homogeneity as much as possible, the cell cel in the same production lot is combined. Therefore, cell properties, such as a discharge curve and a charge curve, are similar mostly. Therefore, if the average property of the production lot is surveyed and the standard capacitor Cf0 (avr) is determined beforehand, Cf (m) can replace Cf0 (m) of (4) types by Cf0 (avr), and can amend and calculate it by the formula (2) and the formula (4).
[0039] Thus, since the net volume at the time of the full charge of each cell cels 1-3 can be found even if it changes by factors, such as degradation, cel remaining capacity and cel charge possible capacity are computable. Therefore, by the control means 8, the exact remaining capacity and charge possible capacity of a group cell can display on a liquid crystal display etc. Moreover, overcharge of the cell cels 1-3 can be prevented, and safety can be raised.

[0040] Next, a control means 8 explains the gestalt 4 of the operation which takes the selva lance of the cell cels 1-3 using the block diagram of drawing 6 . It is the configuration of having connected switches 19-21 and the balance resistance 22-24 to juxtaposition at the serial, and having added closed circuits 25-27 to each cell cels 1-3 at drawing 2 .

[0041] Next, drawing 7 which changed drawing 3 is explained so that it may become a flow of operation in case a control circuit 8 maintains balance using the real remaining capacity of the cell cels 1-3. Drawing 7 shows henceforth from step 9 of drawing 3. Cel remaining capacity chose the minimum remaining capacity Cr (min) from the result (S11) of remaining capacity calculation of the cell cel 1-3 first (S12). For example, supposing it is the cell cel 1, there are more remaining capacity Cr of other cell cels 2 and 3 (2) and Cr (3) than Cr (1). Then, a switch 20 and a switch 21 are turned on using a control means 8. Then, in a closed circuit 26, an independent current flows in the cell cel 2 through the balance resistance 23, and Cr (2) is consumed. Also in the cell cel 3, it is same that Cr (3) is consumed in a closed circuit 27. Cr (2) and Cr (3) discharge until they become equal to Cr (1), respectively, they turn off (S22), a switch 20, and a switch 21 in the place which became almost equal, and stop discharge in closed circuits 26 and 27 (S23).

[0042] By the way, while switches 20 and 21 turn on, at step 20, the current which flows to closed circuits 26 and 27 is counted, current addition is also performed, and it subtracts from the cel remaining capacity which updated the quantity of electricity at step 11 (S21). It is returned to step 11 and it updates to cel remaining capacity also including quantity of electricity which flows to a closed circuit. Thus, when it controlled so that the cel remaining capacity Cr (2), Cr (3), and Cr (1) became equal and a group cell reaches discharge final voltage, the electrical potential difference of each cell cels 1-3 also turns into a termination electrical potential difference equally, and the remaining capacity of the cell cels 1-3 can secure a normal selva lance while becoming zero equally.

[0043] Next, drawing 8 which changed drawing 7 so that a control circuit 8 might become a flow of operation in the case of taking a selva lance using the real charge possible capacity of the cell cels 1-3 is explained. The maximum cel charge possible capacity Cp (max) was first chosen from the result (S15) of cel charge possible-capacity calculation of the cell cels 1-3 (S16). For example, supposing it is the cell cel 1, there are less charge possible capacity Cp of other cell cels 2 and 3 (2) and Cp (3) than Cp (1). Then, a switch 20 and a switch 21 are turned on using a control means 8 (S19). Then, in a closed circuit 26, an independent current flows in the cell cel 2 through the balance resistance 23, and Cr (2) is consumed. Also in the cell cel 3, it is same that Cr (3) is consumed in a closed circuit 27. until, as for Cr (2) and Cr (3), Cp (2) and Cp (3) become equal to Cp (1) -- discharging -- almost -- equal -- having become (S22) -- a switch 20 and a switch 21 are turned off in time (S23), and discharge in closed circuits 26 and 27 is stopped.

[0044] Moreover, at step 20, a current is counted, current addition is also performed and it subtracts from the cel remaining capacity which updated the quantity of electricity at step 11 (S21). It is the same as that of the case of discharge to return it to step 11 and to update cel remaining capacity also including quantity of electricity which flowed to the closed circuit. Thus, since the cell cels 1-3 will also become a full charge equally when a group cell reaches a full charge if it controls so that the cel charge possible capacity Cp (2), Cp (3), and Cp (1) become equal, the cell cel which is overcharged is not generated.

Therefore, the normal selva lance in charge is securable.
[0045] Next, a control means 8 explains the gestalt 5 of the operation which controls the power consumption of a group cell device system automatically. For example, if it is a video camera and the remaining capacity of a group cell will run short, power save of switching off the back light of liquid crystal will be performed. Moreover, if it is a cell motor and the hybrid car driven by the gasoline engine and the remaining capacity of a group cell will decrease, control changed from cell motorised to a gasoline engine drive will be performed. Since automation of these device control is a well-known technique, the detailed explanation using a drawing is omitted.
[0046]
[Effect of the Invention] In claim 1, only the electrical potential difference of the whole group cell, management of the current which goes in and out, or the electrical potential difference of each cell cel is not managed like before, but the remaining capacity of each cell cels 1-3 which searched for the remaining capacity calculation means using 4-6 is managed. Therefore, even if it is the group cell by which the selva lance collapsed, remaining capacity display of a group cell or control of a group cell device system is performed by the real remaining capacity of an exact group cell. There is effectiveness which solves the trouble that the management precision of the whole group cell falls and goes as a selva lance collapses as a result.
[0047] It is adopting the remaining capacity conversion approach of the cell in which this invention person's did patent application by the application for patent 2001-173443 in claim 2, and the effectiveness which comes to be able to make exact power-source management of a cell device system by becoming possible to calculate correctly the remaining capacity of the cell cels 1-3 in the group cell by which the selva lance made conventionally impossible collapsed is large.
[0048] In claim 3, a control means 8 computes the cel remaining capacity based on claim 1, and it is performing a remaining capacity display and is effective in the ability of a device user to carry out power-source management correctly.
[0049] In claim 4, cel charge possible capacity is computed using the cel remaining capacity which the control means 8 computed based on claim 1, and a control means 8 controls charge based on the count result. Therefore, since it can charge without the cell cel which is overcharged occurring, the effectiveness over safety is large.
[0050] In claim 5, the cel remaining capacity which the cel remaining capacity calculation means computed based on claim 1 is used, and the amount of collapse of an exact selva lance is computed. And since a control means 8 adjusts the remaining capacity or charge possible capacity of a cel by the amount of collapse, the effectiveness that an accurate selva lance is securable has it. [large]
[0051] Moreover, in claim 6, since it is made quantity of electricity which added or subtracted quantity of electricity which flowed to the closed circuits 25-27 for selva lance adjustment established independently in each cell cels 1-3 to quantity of electricity which flowed on the whole group cell, and flowed in each cell cels 1-3, there is effectiveness which raises the precision of a cel remaining capacity calculation means or a cel charge possible-capacity calculation means.
[0052] Moreover, in claim 7, it is effective in the ability to extend the time of a device, since a control means 8 changes the power consumption of a group cell device system automatically.

[0053] moreover, in claim 8, since the exact group cell management method based on claim 1 is constituted to a cell device system, it is effective in the precision of power-source management of a device being markedly easy coming to be alike.
[0054] Moreover, in claim 9, it is saving at record media, such as ROM in a microcomputer, the program of the exact group cell management method based on claim 1 is mass-produced, the cost can be cut down, and there is effectiveness which can miniaturize a group cell device system.

DESCRIPTION OF DRAWINGS

[Brief Description of the Drawings]
[Drawing 1] It is the block diagram of the group cell management method of the gestalt 1 of operation.
[Drawing 2] It is the block diagram of the group cell management method of the gestalt 1 of operation.
[Drawing 3] It is the flow chart of the group cell management method of the gestalt 1 of operation.
[Drawing 4] It is the flow chart of the group cell management method of the gestalt 2 of operation.
[Drawing 5] It is the flow chart of the group cell management method of the gestalt 3 of operation.
[Drawing 6] It is the block diagram of the group cell management method of the gestalt 4 of operation.
[Drawing 7] It is the flow chart of the group cell management method of the gestalt 4 of operation.
[Drawing 8] It is the flow chart of the group cell management method of the gestalt 4 of operation.
[Description of Notations]
1, 2, and 3 are a cell cel.
4, 5, and 6 are a cel remaining capacity calculation means.
7 is a cel remaining capacity selection means.
8 is a control means.
9 is an anode plate.
10 is ******.
11 is a microcomputer.
12 is a cel electrical-potential-difference acquisition means.
13 is an open-circuit-voltage pair remaining capacity conversion means.
14 is a current minimum value acquisition means.
15 is a current addition means.
16 is a current acquisition means.
17 current-detection-resists.
18 is a translation table.
19, 20, and 21 switch.
22, 23, and 24 balance-resist.
25, 26, and 27 are a closed circuit.

DRAWINGS

[Drawing 1]

[Drawing 2]

[Drawing 3]

[Drawing 4]

[Drawing 5]

[Drawing 6]

[Drawing 7]

THIS PAGE BLANK (USPTO)

[Drawing 8]